

「うまい棒」

今朝、「うまい棒が値上がりする」というニュースが流れていた。10円が12円になるそうだ。たった2円の値上がりとみるか、2割も値上がりするとみるかは、人それぞれだと思うが。

「うまい棒」は、昭和54年、42年ほど前に発売された菓子。棒状のコーンパフスナック菓子で、標準小売価格は1本10円（消費税込）である。定番の味にとどまらず、とんかつソース味、たこ焼き味、牛タン塩味、納豆味など、流行を取り入れた味や奇抜な味があるそうだ。累計60種類以上が発売されたという。誰も一度は見たことがあるはずだ。駄菓子屋かコンビニで買って食べた人もいるだろう。

このうまい棒が、原材料高騰のため、この4月から値上げされる。今まで何とか10円を維持してきたのに、自助努力の限界になったのか。そういえば、ここにきて、定番商品の値上げのニュースがよく流れる。小麦粉製品や食用油など、家庭向けの食品の値上げが年明けから相次いでいる。新型コロナウイルス感染症拡大で落ち込んだ経済活動。それが回復に伴う世界的な需要の増加で、原材料が高騰しているという。物流費も上昇している。ただ、ここに来てオミクロン株の影響で、経済活動が回復に向かっていると感じられないが、正直な感覚だ。

ちなみに、うまい棒を販売する駄菓子屋は別の意味でも大変だ。子どもはうまい棒を買うとき、1本か2本。1本なら12円で硬貨は3枚。2本なら24円で硬貨は6枚になってしまう。もちろんおつりを渡す場合もあるだろうが、駄菓子屋には硬貨がたくさんたまってしまう。ところが、銀行では両替の際に、硬貨の枚数によって、手数料が発生する。ゆうちょ銀行でも同じだ。ゆうちょ銀行だと、窓口だと50枚まで無料だが、それを超えると100枚まで550円の手数料がかかる。ATMだと、25枚まで110円、26枚から50枚まで220円、51枚から100枚までは330円だそうだ。10円硬貨を100枚預金すると、千円ではなく窓口では実質450円の入金、ATMでも670円の入金になってしまう。不思議な話だ。

1月25日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 1、2、3、3、4、5、5、6、7、7、8、9、9・・・

の数列で、最初から50番目までの整数をすべて加えると、いくつになりますか。